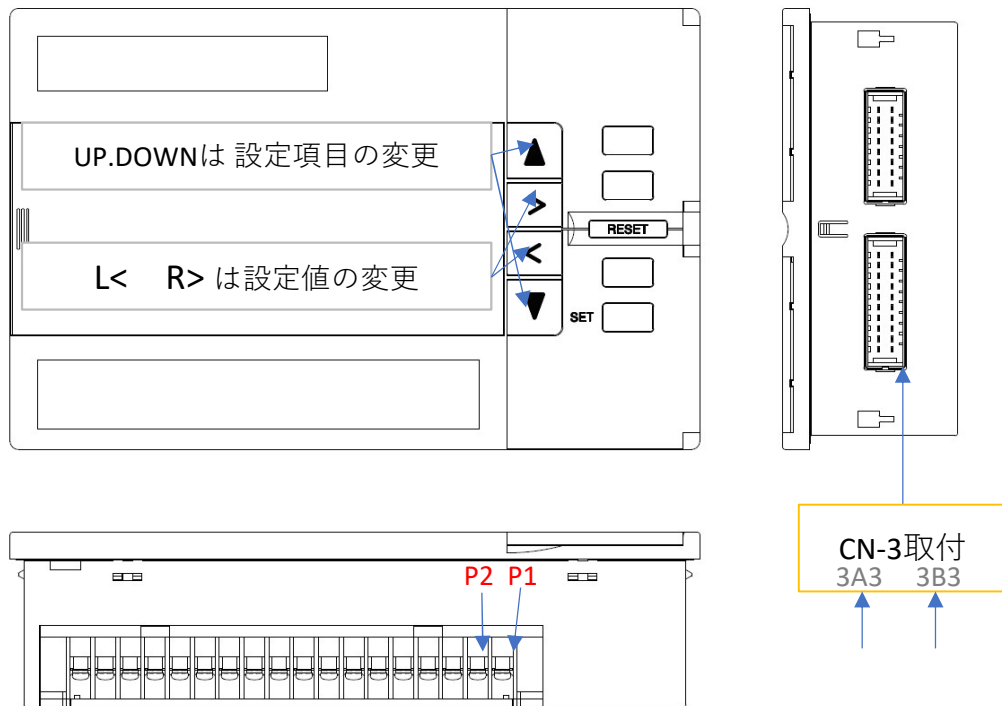


MP11A 不足電圧 (27) 試験要領



1.動作値試験

- ① 接点構造切替スイッチをOFF
- ② 主電源ON
- ③ STARTを押し継電器定格電圧110Vに調整
注、継電器が手動復帰形の場合は、リセットする
- ④ 反時計方向にゆっくりと回し電圧を下げ、動作した値が動作値
- ⑤ 調整器を戻し電源を切る。

2.動作時間試験

- ① 主電源ON
- ② OVR/UVR/DGR電圧調整器で継電器定格電圧110Vに調整
- ③ STARTを押し試験電圧（整定×70%）80V×70%で54Vに調整
- ④ STOPで一度切り、接点構造切替スイッチをa/b(AUTO)にする
- ⑤ STARTを押すと継電器が動作しカウンターが停止する。
- ⑥ カウンター値を確認し、調整器を戻して電源を切る

【設定項目の変更】 [SATE]を2秒押し→設定モードに切替

(31) 27検出相選択 123→12に変更 試験終了後に必ず戻す

【試験回路養生】

P1.P2 を離線、コネクタCN-3を取付

【試験器接続】

P1.P2に電源コード、CN-3にトリップ接点コードを接続する